

<講演テーマ>

「豊かな未来を生きるヒント ～見えない壁の向こう側～」

養老 孟司 (ようろう たけし)

東京大学名誉教授 (医学博士, 解剖学)

◇1937年神奈川県生まれ。

◇東京大学医学部卒業

1年のインターンを経て、解剖学教室に入る。以後解剖学を専攻

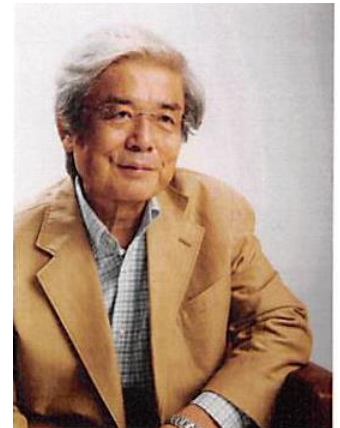
◇1967年医学博士号を取得

◇1981年東京大学医学部教授に就任

◇1996年北里大学教授に就任

◇1998年東京大学名誉教授

◇2003年北里大学を退職



◇1989年『からだの見方』(筑摩書房)でサントリー学芸賞を受賞

◇2003年『バカの壁』(新潮社)で毎日出版文化賞を受賞

◇2006年京都国際マンガミュージアム館長就任

◇2015年神奈川文化賞を受賞

◇2017年京都国際マンガミュージアム館長退任 同名誉館長就任

◆主な著書◆

- * 「身体の文学史」「バカの壁」「死の壁」「超バカの壁」「養老訓」「ほんとうの環境問題」「かけがえのないもの」「養老孟司の大言論」「ほんとうの復興」「身体巡礼」「『自分』の壁」(新潮社)
- * 「ヒトの見方」「からだの見方」「解剖学教室へようこそ」「考える人」「無思想の発見」(筑摩書房)
- * 「養老孟司の“逆さメガネ”」「本質を見抜く力」(PHP出版)「虫眼とアニ眼」(徳間書店)
- * 「耳で考える」(角川書店)「唯脳論」(青土社)「脳に映る現代」(毎日新聞社)
- * 「涼しい脳味噌, 正統」「臨床読書日記」(文芸春秋社)「ミステリー中毒」(双葉社)
- * 「毒にも薬にもなる話」「こまった人」「まともな人」(中央公論社)
- * 「記憶がウソをつく!」(扶桑社)「いちばん大事なこと-養老教授の環境論」(集英社)
- * 「養老孟司のデジタル昆虫図鑑」(日経BP社)「虫捕る子だけが生き残る」(小学館)ほか多数。